



民児協 ぬくもり

No.18

【発行日】
令和6年2月15日

【発行】
笠間市連合民生委員
児童委員協議会

【編集】
広報委員会

民児協とは、民生委員児童委員協議会の略称です。



仁古田の朝

横木守氏撮影

スローガン

支えあう 住みよい社会 地域から



いあいさつ

笠間市連合民児協

会長 井坂 フヂエ

民生委員2期目を迎えて

私が地区の民生委員になり早や2期目を迎えました。

今までの民生委員活動の中で、最初に経験した一例を紹介します。

一人暮らしの高齢の女性の方でしたが、近くに近親者がいないこともあり、近所の方々が見守りをしていました。しかし、高齢のためか日常生活や、公共料金の支払いにも、少しずつ支障が出るようになってきました。

近所の方々の不安も日々増すばかりで、私も何か良い支援策はないかと思ひ、当時の区長にお願いし、市の担当者と自治会関係者との打合せの場を設けていただきました。

その結果、最終的には本人の同意のもと、施設に入ることになりました。この時私が心強く感じたことは、

昨年5月に、コロナ感染症が第5類感染症に引き下げられてから、日常が戻ってきました。昨夏は、観測史上一番の猛暑が9月中旬まで続き、各地で水害が起き県内でも被害がでました。このような時こそ、地域の力が必要だと感じています。私たちも、コロナ禍の3年間心配しながらも、訪問活動を自粛し、もどかしい思いを致しました。

昨年5月に、コロナ感染症が第5類感染症に引き下げられてから、日常が戻ってきました。昨夏は、観測史上一番の猛暑が9月中旬まで続き、各地で水害が起き県内でも被害がでました。このような時こそ、地域の力が必要だと感じています。私たちも、コロナ禍の3年間心配しながらも、訪問活動を自粛し、もどかしい思いを致しました。

民生委員活動について

市関係者の方々が地域住民の問題解決に向けて、総力で対応してくれたことです。民生委員として困った時の対処法、解決方法の一つをこの時直接体験できたことは、その後の私の民生委員活動に、自信と安心感を与えてくれました。

現在多くの課題がある中で、一番は高齢者の見守りであると私は考えています。地域住民の中で援助を必要としている方がいた場合は、速やかに関係機関と連携し、パイプ役に徹して行きたいと考えています。

一斉改選から2回目の春を迎えました。コロナ禍の中では、訪問活動や研修会などがおさえられていました。現在は、感染予防を心がけながら活動をしています。

さて、私達は、新年度になると「見守り支援調査」を行います。初めての訪問時に、速やかに記入される方もおりますが、個人情報他他人に教えたくない拒否される方もおります。民生委員には「守秘義務がある」と伝え、協力を得られるまで、何度も訪問することもあります。

また、人の生き方が様々なように相談内容も色々です。地域の方々と行政のパイプ役となるために、私達も研修などで知識を得る努力をしています。地域の方々にも民生委員の活動をご理解いただければと思つて

おります。

以前、先輩民生委員から次のようなアドバイスがありました。

「事務的なことは、少しの時間で済む。相手方に支障が無ければ、雑談でもして仲良くなると良いよ」と。

私は、民生委員児童委員信条に掲げられていることを心に刻み、地域福祉の向上に努めていきたいと思つていきます。

委員の活動から

そばで...



励まされて

民生委員・児童委員となり7年目になりました。その間、様々な経験をさせていただきました。一人暮らしの高齢者の方々に主に訪問活動してきましたが、初めての訪問時にはかなりのエネルギーを要しました。

また、一刻を争うような場面にも遭遇しました。ある朝、近所の一人暮らしの方の家の雨戸が開かないという知らせがあり、行ってみると雨戸が開かず、声を掛けても返事もありません。二人で困り果てている所に、遠くに住む身内の方が偶然にもみえて、室内をみていただいたところ、部屋で倒れていました。救急車を呼び事無きを得ました。

現在、私の担当地区も高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の方が増えました。しかし、皆様は外向きの方

日頃の 民生委員・児童

あなたの

民生委員として

民生委員活動に参加して4年目となりました。

その間、新型コロナウイルス感染症拡大防止からの行動制限やロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、社会情勢の変容は私たちの生活を一変しました。そのような中でマスクを付けての活動は相手にどこまで信頼してもらえるか常に不安と隣り合わせでした。

これまでの4年の間には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面活動は極力時間をかけず対応してきました。2020年はコロナで始まり、コロナに振り回された1年でした。しかし、当たり前の生活がいかにかけがえないものであったかを再認識しました。2年目3年目とコロナ禍と真正面から向き合う

日々が過ぎました。ようやく4年目になりコロナの規制緩和となりました。これまでの先輩たちが地道に築き上げてきた役割の半分しかできなかったと思う反面、コロナ禍から生まれた新たな発見も見いだせたのかなと思います。

それは、だんだん活動経験が増していく中、他者を気遣う利他、分かち合う、そこから編み出される連帯の大切さを感じた瞬間でもありません。

高齢者の見守りなどが主ですが、これからも総合的な考え方を持って、欲張らず日々の活動を続けたいと思います。



ぐあいさつ

笠間市長 山口 伸樹



民生委員・児童委員の皆様には、生活スタイルの変化、また物価高騰に伴う生活困窮世帯の増大など、例年にはない状況変化の中、社会福祉の増進にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、近年の核家族化や単身世帯の増加に伴い、ひきこもりや孤独孤立問題といった、これまで社会に内在していた課題の顕在化・深刻化が懸念されております。この様な課題への対応は、地域における取り組みが重要とされており、長年地域に

おいて、相談や支援を担っている委員の皆様のご役割は、一層重要となっております。行政といたしましても、委員の皆様をはじめ、関係者との連携のもと、支援を要する方へのきめ細かい支援が行き届くよう努めてまいりますので、委員の皆様には、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

最後に、笠間市民生委員児童委員協議会のますますの発展と、委員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

児童・母子福祉委員会

小中学校の現状と取り組み

7月10日にスクールソーシャルワーカーの福島氏の講話を聴きました。

現在4名のスクールソーシャルワーカーの方が各学校を訪問し、子どもたちを取り巻く様々な問題に福祉の面から学校側と協力し、対応しているそうです。

地域差はありますが、小中学校と共に児童・生徒数の減少がみられますが、放課後児童クラブの子どもたちが増加し満員の学校もあるとのこと。

日々の学校生活の中で多様化が求められ、変化・進化する学校に対して、子ども育成センターなど様々な支援機関を設置しています。子ども福祉課や教育委員会との連携により、子どもたちが健やかに育つように活動を行なっているとのこと。

新しい取り組みとして、学力向上支援事業もスタートしています。

今後、子どもたちが健やかに育つための要素である「関わり」という面で、民生委員・児童委員として、温かく見守っていただける活動を進めていく必要性を感じました。



児童・母子福祉事項別研修会

生活保護関係委員会

生活保護制度について

6月27日、社会福祉課保護グループより査察指導員を招き、基本的な生活保護制度について講話を聴きました。始めに関係法規として、日本国憲法25条や生活保護法第1条が示されました。法によって私たちの生活が守られていきます。生活保護制度は生活に困窮する方に対して、その困窮程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な生活を保障すると共に自立を助長することを目的としているという事です。

委員会

事項別委員会の研修や活動を紹介

だより

9月22日、笠間市社会福祉課障害グループの担当者を招き研修会を実施しました。

障がいの種類と内容、障がい福祉制度について、障害者手帳の交付状況に基づいて、市内の障がい者の実態と障がい福祉制度や「障がい福祉のしおり」で、具体的な障がい者の自立に向けた支援について説明を受けました。

障がいに関する相談は笠間市基幹相談支援センター等で行っているそうです。

ここでは、「障がいをお持ちの方々が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、さまざまな機関と協力しながら地域での暮らしをお手伝いします。福祉や医療などさまざまな面から障がいをお持ちの方を支えていきます」との方針のもと障がい者やその家族や周囲の方々の相談にも応じています。この研修はこれからの活動に大変参考になりました。

障害者(児)福祉委員会

障がい者等自立に向けた支援

高齢者福祉委員会

高齢者福祉の意見交換会

9月25日、市民センターいわまにおいて、笠間・友部・岩間地区委員による高齢者福祉事項別研修会を実施しました。少人数の4つのグループで高齢者福祉に関する意見交換を行いました。他の地区委員と話す機会が多くなるよう、なるべく異なる地区委員でグループ分けを行い、日頃の活動を通じての課題やちょっとした心配ごと、気になることなどを話し合いました。

各グループで討議した内容として
① 関係する機関との連携が非常に大事であること。

② 見守り対象年齢の65歳の見直しが必要なのではないか。

③ 認知症患者の増加で、その対応が大変になってくるのではないかと。今後の活動に参考となる多くの意見が出されました。



高齢者福祉事項別研修会

今回の研修を通じて、他地区委員との交流もでき意義ある研修となりました。

地域の芽を育てよう

～未来にむけて～

生活支援体制整備事業について

笠間市社会福祉協議会では、「生活支援体制整備事業」を行っています。

この事業は、高齢者の社会参加と住民同士の支え合いを一体的に推進するものです。

高齢者の人口がピークを迎える2040年頃には、高齢者世帯や認知症の方が増え、今後は医療や介護の需要が急速に増加することが考えられています。医療や介護のサービスには限りがあり、専門的なサービスだけではカバーできなくなることが予測されます。

これからは、地域の皆様が普段暮らしている場所で、いきいきと暮らせるよう、身近な地域で支え合う地域づくりが必要となります。

社会福祉協議会では、地域ごとの話し合いや情報交換等で皆さんが集まり、様々な生活上の課題や生きがいづくりに向けた話し合いのできる場として「協議体」づくりを推進し、愛着をもって育てていけるように、自分たちで名称を決め、定期的開催できるように支

援しています。

民生委員・児童委員の方にも地域のひとりとして、お声をかけさせていただきます、参加をお願いしているところです。

この「協議体」は、地域の皆様が自分たちの地域を見つめ、発見し、どうしたら自然にお互い様の関係づくりができ、住みよい地域になるかを考える作戦会議をする場です。

このように話し合っていくことは、目にもえて何かが変わり、実績がみえるというものではありませんが、地域のコミュニケーションが深まります。

地域の皆様には、この事業にぜひご参加いただき、ご協力をお願いいたします。



..... 地域を良くする仕組みとしての協議体とサロン



福原「福ふくサロン」



尖戸「3日前の会」



東「東風の会」



北根西「サロンはしば」



箱田「友びきの会」

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会

本 所 笠間市美原 3-2-11
TEL.0296-77-0730
笠間支所 笠間市石井 717
TEL.0296-73-0084
岩間支所 笠間市下郷 5139-1
TEL.0299-45-7889

なにがなににしてなんとやら

笠間市旭町 永長 武司

子どものころは、あん蜜にとろけて大人になって、壇蜜のセクシーさにおぼれて、現在は、コロナの三密に苦しめられる日々。

我が家の会話は先細り、「あれ、それ、これ、なに」の代名詞だけの会話に、そして「なに」を「なに」してくれの一言になり、さらに最近では目と顎を動かすだけとなり、危機的状況です。

さて私はグループ名「ローサス」というフルート・ギター・パーカッション構成のユニットバンドに所属して活動しています。

毎週公民館に集まりレッスンをし、社会福祉施設の慰問演奏そして「歌声広場」を主催しております。

歌声広場は、公民館などを会場にして、童謡、唱歌、昭和歌謡などを参加者全員で大合唱するイベントです。約130人、直近はコロナで半数に制限し70人が参加します。

ほっとひといき

参加者は、北山の池にいる鯉の口に負けないくらい、口を大きく開いて、約2時間で20曲を楽しく歌います。

帰りは、ストレスが解消され、皆さん笑顔で、「また、今度」といって別れます。

歌を歌うと幸せホルモンが出て、ストレス解消、呼吸筋などを鍛える、自律神経のバランスを保つ、認知症予防、などの効果があるそうです。

ところで、我が家ですが、元の固有名詞での会話ができるよう、努力している最中です。

歌を忘れた我が家のカナリヤ（女房殿）の鼻歌がそろそろきこえてきそうです。おーい、「そのの、なに、なにしてくれっか」女房殿「なーに言ってんのよ」ごめんさい。



俳句

衣擦れの 裾の日だまり 二月来る
春泥に 板を渡せば 皆近し 友部 大塚はゆむ

朝に日に 見上げる峰は 照り紅葉
あさあかね 雨上がりの空 七色に 岩間 滝川 水穂

桑ほどく 今日筑波に 雲もなく
園児来て 蛙の子放つ 春の水 笠間 奥村 雄治

主任児童委員の活動



昨年7月某日、主任児童委員8名により、オレンジリボンの作成を行いました。オレンジリボンは、子ども虐待のない社会を目指す運動で、11月には児童虐待防止推進月間に合わせてオレンジリボンを配布し、啓発活動を行いました。

ひたちなか市第1地区との意見交換会



昨年6月8日、ひたちなか市第1地区と笠間市連合民児協の代表として、友部地区民生委員児童委員との意見交換会を、友部公民館で行いました。

短い時間でしたが、7グループに分かれて、日頃の活動の悩み、各地区の状況について、活発な意見交換ができ、大変有意義だったとの感想が聞かれました。

あとがき

新型コロナウイルス感染症が、第5類に移行して、民児協の行事、勉強会等が通常にもどり活動も活発になりました。民児協会報「ぬくもり」第18号をお届けします。インフルエンザが猛威をふるっています。乾燥が続いていますので、保湿に充分注意していきましょう。

能登半島大地震にみまわれた皆様には心からお見舞申し上げます。一日も早い復興を願っております。

広報委員会

委員長	市川 芳一	委員	新名 光枝	寺門 常康
副委員長	飯村 正子		羽根田すみ子	高田 眞弓
	郡司 正一		打越 久勝	久勝 久勝
	小菅 栄子		横木 守	好文 好文
				大久保きよ子



民生委員・児童委員担当地区一覧表

(氏名・電話番号・担当地域の順)

令和5年3月1日現在

★主に宍戸小学区

1	小菅 栄子	77-3400	上町、中町、下町、星山
2	大根 法子	77-7704	橋爪、下加賀田、矢野下上郷
3	角田 行男	78-3895	南小泉1・2・3
4	大槻 良	77-6331	大古山、ひばりヶ丘団地、ベリオコリナ会
5	米川 容子	77-5494	旧陣屋1・2、小人町
6	米川 美和	77-0914	旧陣屋3
7	仲野よし子	77-6982	大田町1
8	村上 元子	77-1083	大田町2、八反山
9	磯部佐智恵	77-7801	松山団地1・2
10	中里真理子	77-4536	松山団地3、県営松山アパート、松山南団地
11	岩田 幸雄	77-6285	八幡下、八幡台第2

★主に友部第二小学区

1	米川 健一	77-4548	矢野下藤株・下郷、若狭山団地、清住町
2	深澤美穂子	77-0989	八幡台第1
3	相澤 博美	77-7511	大沢下1
4	菊池美智子	77-4460	大沢下2
5	寺門 常康	73-4113	旭台、アクシーズタワー旭台
6	阿部 幸雄	77-3789	旭崎1・2、原団地
7	後藤 政見	77-8932	大沢上1・2
8	成田 恵子	77-7962	大沢上3
9	阿久津英治	77-6826	旭台団地1・2・3・4
10	軍司 行男	090-6796-5821	旭平1、サンステージ
11	齋藤 清	77-1214	旭平2、旭平団地、緑ヶ丘団地

★主に友部小学区

1	橋本 正男	77-9009	原店1・2
2	白土 昌夫	77-5361	宿1・2、久保、古山
3	瀧本 一	77-6461	宮前1・2
4	友部 豊年	77-3478	鴻巣1
5	青木とみ子	77-7677	鴻巣2、県営友部アパート、鴻巣団地
6	染谷 邦子	77-0084	東町1・2、仲町
7	伊橋 理代	77-2473	東町3・4
8	福田 紀子	77-5790	西町1・2、南町
9	高野 康司	77-7107	桜町、友部栄町
10	多川英久雄	77-5651	幸町、大沢中1・2
11	塩畑真紀子	77-1229	当の越1・2
12	田口 博	77-1275	緑町1・2・3
13	高田 眞弓	77-8207	大沢中3、美原団地
14	井坂フヂエ	77-0572	青葉町
15	武藤 千秋	77-7943	柿橋西・中
16	大内 勉	77-6927	柿橋東・南
17	森 よし江	77-7349	柿橋北
18	中山 務	77-1882	柿橋団地、東ヶ丘
19	大島 正子	77-6980	西飯田
20	藤枝 和也	78-0795	内郷、西内郷、飯田1・2・3
21	伊藤 重男	77-6123	富士町

★主に北川根小学区

1	横木 守	77-3951	旭丘団地、住吉団地、みどり野団地
2	布施谷智恵美	77-2827	旭団地、西協、長野、RG風の杜、グリーンウッド
3	光又 宏子	77-9373	睦団地、西原、西原住宅班、コンフォートタウン西原
4	打越 安洋	78-0159	石沢、長兎路全区
5	野口 節子	78-0139	住吉本宿、白百合
6	古山 均	77-5061	住吉新宿、湯崎、田向
7	枝川 良雄	78-0948	随分附本郷・笠松、東原
8	箱田 素子	77-4573	柏井、柏井団地、旭丘、仁古田全区、南丘団地

★主に大原小学区

1	長谷川潔司	78-0783	下市原、中市原
2	中庭 栄一	77-3290	上市原1・2
3	友部 順子	77-2794	滝川1・2
4	長谷川道夫	77-2519	香取、久保下寺、新宿、小原団地
5	須藤 敏夫	090-8809-6250	館古宿、本内、原坪、筒塙

★主任児童委員

1	海老澤佐賀恵	77-4715	友部地区全域
2	山口 正俊	77-6060	
3	市毛 正明	77-8590	

- 委員についての問い合わせ先
社会福祉課
☎77-11101 (内線157)
- 子育て支援について
子ども福祉課
☎77-11101
- 家庭児童相談室(子育てのこと全般)
☎70-5411 (直通)
(月)～(金)午後1時から5時まで
- 高齢者に関すること
高齢福祉課
☎77-11101
- 障がいにより生活のしづらさを感じていたりお手伝いが必要な場合
基幹相談支援センター
☎73-5080 (直通)
- 子どもの成長や発達に関する相談
子ども育成支援センター
☎73-14721

事務局から

ダイヤル
189

この番号をダイヤルすると最寄りの児童相談所につながります。児童虐待等、子どもに関する相談などにご利用ください。

児童相談所全国共通ダイヤル

ダイヤル
188

悪質商法等の被害相談に直接市町村の消費生活センターにつながります。「おかしいな」と思ったなら、すぐに電話で相談しましょう。

消費者ホットライン

全国共通ダイヤルを利用しましょう

笠間地区 民生委員・児童委員名簿

令和5年3月1日現在

★民生委員・児童委員

番号	氏名	電話番号	担当地域
1	須藤 甲治	72-7893	1区、24区
2	飯村 正子	72-0011	2区、3区、5区
3	塩畑 一洋	72-4232	4区
4	新名 光枝	72-0805	6区、8区
5	吉田 敬	72-1196	7区、27区
6	吉岡 孝子	72-4111	9区
7	小坂 浩	72-9087	10区(50号南側)
8	近藤 純子	72-1328	10区(50号北側)
9	小林 正弘	72-6095	11区(50号北側)
10	岡野 陽子	73-0578	11区(50号南側)
11	湊 三津子	72-3485	12区
12	嶋田 一郎	72-0901	13区
13	大高 幸夫	72-5029	13-1区
14	萩原真由美	090-6343-5019	14区
15	船橋 勇一	72-2059	15区(芸術の村進入路から駅側他)
16	海老沢照子	72-4655	15区(芸術の村進入路から芸術の村側他)
17	額田 高志	72-2315	15-1区、16区のうち12~16班
18	古谷 悦男	72-9485	16区のうち1~11班、17区
19	蘭部 治	72-3935	18区
20	市毛 誠	090-8948-9361	19区
21	小澤 京子	72-3453	20区、21区
22	大枝久忍子	72-1061	22区
23	諸星 恭子	72-7107	23区
24	高野 光子	72-2615	25区
25	秋山 恵美	070-3867-0510	26区(駅前通りから東側及び西側の北方)
26	廣澤 祥子	72-1944	26区(笠間高校南側と駅前通り西側の南方)
27	森 幸信	72-8004	28区、30区
28	菅井 清人	72-8040	31区、33区
29	井口 清	72-8725	35区、36区
30	蘭部喜美子	72-8300	38区
31	藤枝 哲男	72-8329	41区~45区

番号	氏名	電話番号	担当地域
32	仲田 耕益	72-4898	50区
33	阿内 一義	74-3612	51区
34	太田 滋	72-5469	54区~58区
35	大月 要	72-4804	60区~63区
36	大嶋 悦子	72-5586	64区~66区
37	大森 康司	72-9291	67区~69区
38	羽根田すみ子	72-6740	67-1区
39	小嶋いね子	72-2321	70区~74区
40	郡司 正一	74-3026	75区、76-1区
41	石塚 利徳	74-2596	77区、78区
42	長堀久美子	74-2233	76-2区、79区
43	来栖川悦子	72-2787	80区、81区
44	塩田 計子	71-8626	82区、82-1区
45	浅利 進	72-9030	83区、84区
46	前川 恵市	72-3611	85区
47	若菜きぬ子	72-2766	86区
48	潮田 浩	74-4455	88区~90区
49	稲野直子	74-4172	91区~93区
50	宮崎 守	74-3938	94区、110区
51	梅原 守	74-3347	95区~97区
52	椎名 芳男	74-2911	98区
53	中野 治美	71-8487	99区、100区
54	入江 保夫	74-2261	101区、102区
55	江幡 資	74-3567	103区、104区
56	岡野 恵	74-4566	105区、106区、105-1区
57	森 保	74-3477	107区~109区

★主任児童委員

番号	氏名	電話番号	担当地域
1	金澤 彰	74-4868	笠間地区全域
2	塩田 勝二	72-3203	
3	大月 裕美	72-6155	

- 委員についての問い合わせ先
笠間支所保険福祉課民生委員・児童委員事務局
☎72-1111(内線72130)
- 子育て支援について
子ども福祉課
☎77-11101
- 家庭児童相談室(子育てのこと全般)
☎70-5411(直通)
(月)~(金)午後1時から5時まで
- 高齢者に関すること
高齢福祉課
☎77-11101
- 障がいにより生活のしづらさを感じていたりお手伝いが必要な場合
基幹相談支援センター
☎73-5080(直通)
- 子どもの成長や発達に関する相談
子ども育成支援センター
☎73-14721

事務局から

ダイヤル 189

この番号をダイヤルすると最寄りの児童相談所につながります。児童虐待等、子どもに関する相談などにご利用ください。

ダイヤル 188

悪質商法等の被害相談に直接市町村の消費生活センターにつながります。「おかしいな」と思ったら、すぐに電話で相談しましょう。

消費者ホットライン

全国共通ダイヤルを利用しましょう

岩間地区 民生委員・児童委員名簿

令和5年3月1日現在

★民生委員・児童委員

番号	氏名	電話番号	担当地域
1	萩谷 博	45-6098	日吉町西、日吉町(1組)
2	秋山寿雅子	45-6525	日吉町(2組)、ヘルシータウン、日吉町東、白旗ニュータウン、白旗ヒルズ
3	茅根 正司	45-3720	吉岡1、吉岡住宅、第2東宝ランド
4	藤枝 泰樹	45-3708	吉岡2、寿
5	檜村 浪江	45-3067	旭町東
6	酒井 孝	45-7835	春日1、春日町、岩間東町1
7	市川 静枝	45-7907	南春日町
8	川崎 史子	45-2719	旭町西
9	畠山 好文	45-3505	参り坂、愛宕団地
10	大越 好光	45-6841	岩間上町
11	町田 誠一	45-4391	岩間中町
12	山本 通子	45-3985	岩間栄町
13	鈴木 裕	45-7177	新渡戸、室野
14	藤枝 勉	45-4502	横関、岩間古山、滝尻1、滝尻2、堂山、茅生
15	松田百合子	45-6023	東組、花園、大久保
16	鈴木 利通	45-2446	長沢、仲通、日向、日向内
17	町田 満	45-3643	大網、駒場、大篠、大古沢

番号	氏名	電話番号	担当地域
18	仲村 春美	45-3203	北根東1、北根東2
19	矢口 壽子	45-3393	北根中、北根西、光西寺泉ミサワホーム
20	柳原 優子	45-4908	五霊、山根南、山根北、中村
21	渡邊 光司	45-4436	平、市野谷上、市野谷中、市野谷下
22	大久保きよ子	45-7469	小島、福島、谷原
23	打越 久勝	45-6601	土師
24	中林 正己	45-5201	上押辺
25	菅谷 義一	56-4225	下押辺
26	埜 幹雄	45-5098	吉沼、上安居
27	久保田陽子	090-3219-6987	下安居、東大牧場
28	岡野 晃久	45-5653	安居東部、俎倉
29	高橋 京子	45-8755	柵山東部、柵山西部
30	中林 春男	45-5946	第1東宝ランド

★主任児童委員

番号	氏名	電話番号	担当地域
1	市川 芳一	45-2896	岩間地区全域
2	羽持 清美	45-4380	



○委員についての問い合わせ先
岩間支所保険福祉課民生委員・児童委員事務局
☎0299-3716611 (内線73171)

○子育て支援について
子ども福祉課 ☎0296-7711101
家庭児童相談室(子育てのこと全般)
☎0296-7015411 (直通)
(月～金)午後1時から5時まで

○高齢者に関すること
高齢福祉課 ☎0296-7711101

○障がいにより生活のしづらさを感じていたりお手伝いが必要な場合
基幹相談支援センター ☎0296-7315080 (直通)

○子どもの成長や発達に関する相談
こども育成支援センター ☎0296-7314721

事務局から

委員には守秘義務があり、知り得た情報は外へ漏らすことを禁じられています。住民からの相談の内容により行政や社会福祉協議会など関係機関に繋ぎます。安心して各地域の委員にご相談ください。



民生委員・児童委員は
住民と行政機関との
パイプ役です

全国共通ダイヤルを利用しましょう

いちはやく
189

この番号をダイヤルすると最寄りの児童相談所につながり、虐待かもと思ったらご連絡ください。

児童相談所
虐待対応ダイヤル

いやや
188

悪質商法等の被害相談に直接市町村の消費生活センターにつながります。「おかしいな」と思ったら、すぐに電話で相談しましょう。

消費者ホットライン